

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第4回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		平成30年8月23日(木) 18時30分~21時				
開催場所		中央公民館大会議室				
出席者	委員	18人(別紙のとおり)				
	その他	4人(地域活性化事業交付金事業申請予定者1人、企画政策課1人、都市計画課1人、中央区役所区政策課1人)				
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 事務連絡 (1) 地域活性化事業交付金の予定事業と追加事業の調査について 3 議 題 (1) 中央地区まちづくり懇談会テーマの選定について (2) 次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について (3) その他 4 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言、 は事業申請予定者の発言、 は担当課の発言)

1 開会

牛尾会長あいさつ

2 事務連絡

(1) 地域活性化事業交付金の予定事業と追加事業の調査について

平成30年度地域活性化事業交付金の中央地区における申請状況を事務局から説明し、地区不用額取りまとめのための予定事業調査と事前相談の徹底を周知した後、事業申請予定者から計画中の事業の概要説明等を行った。

主な意見・質疑

西門の事業申請予定者は、西門商店街で事業を営んでいるのか。

今年の春から西門商店街に事務所を構えている。

昨年西門浪漫会議もそうだが、西門に新たに入ってきた人たちも巻き込みながら、西門を盛り上げる取り組みを行いたいと思っている。また、かねてから西門商店街では、アーケードという財産を活用すべきとの課題意識があり、今年度はアーケードを生かした事業を計画することとなった。

昨年活動していた西門浪漫会議とは、どのような関係になるのか。

西門浪漫会議もメンバーに含むが、商店街や地域自治会等にも声かけを行い新たな実施主体を立ち上げるつもりでいる。

ある程度具体的な案を示してくれた西門の事業以外にも、高齢者の外出促進、交通安全に向けた事故危険箇所周知など、地域の課題解決に向けて事業に繋がれるものは、積極的に交付金の活用を検討してもらいたい。

3 議 題

(1) 中央地区まちづくり懇談会テーマの選定について

平成30年度中央地区まちづくり懇談会について、取り扱うテーマの選定と発表予定者の選任を行った。

主な意見・質疑

前回、前々回のまちづくり会議において、市役所を含む行政機能等の再編が議題に上った。まちづくり懇談会においても、取り上げるべきだと思っている。

役員会においても同様の意見があった。中央地区にとって、重要な問題と捉えている。

前回の担当課の説明を聞いてもわかるように、このテーマで、具体的議論を行うことは出来ないだろう。市の考えをまちづくり懇談会の場で示してもらい、地域として伝えるべきことを伝え、それらを会議録に残してもらおうという形式が良いのではないだろうか。

計画が具体的に動き出す前の早い段階で、市と意見交換を行うというのは重要だろう。

どこまで具体的な議論ができるか、またすべきだろうか。抽象的な議論で、やりっぱなしというのはよくないだろう。

地域としての疑問や要望を投げかけて、市の考えを聞くという形になるだろう。中央地区として看過できない問題だということを、意識してもらう意味も大きい。

2つ目のテーマとして、子どもを取り巻く問題を取り上げるのはどうか。先日発表された全国学力・学習状況調査の結果を見ると、相模原市は全国平均を多くの科目で下回っており、この結果から、市の教育に何らかの課題があると考えている。議題として取り上げるのが適切かわからないが、1つの案として提案したい。

様々な問題が影響していると思うが、経済状況をはじめとした、各家庭の状況によるものが大きいのではないだろうか。子どもが学習に向かうことが出来るような家庭環境が整っていないのだと考えている。教育現場では様々な対策を取っているはずである。いずれにしても、懇談会で扱うのは難しい。

来年から市立小中学校の夏休みが短縮されると聞く。行政機能等の再編も含め、我々を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域としての関わり方が変わるという観点のテーマ選定もありえるのではないだろうか。

私も、学力と経済状況は密接に関わっていると思っている。例示として適切ではないかもしれないが、政令市中最下位の結果だった大阪市は、生活保護受給率も全国1位であり、貧困問題と学力は切り離せないことを示しているように思う。現在、相模原市では、子ども食堂や無料の学習塾などの民間からのアプローチが盛り上がりを見せており、それをサポートする体制は市側でも整ってきているが、行政主導での取り組みには不十分な感がある。したがって、この問題に対しては何らかの取り組みを行いたいと思っているが、中央地区のまちづくり懇談会で取り上げるのは適切ではないかもしれない。

経済状況が影響するのは全国一緒だろう。やはり、教育方針などに問題があるのではないか。例えば、富士見小学校のオープンクラス構造のせいで、落ち着きの無い子どもが育っていないか。あるいは、教育・研究施設が貧弱ではないかなど、教育の課題が十分に議論されているとは思えない。原因究明に向けた取り組み、体制整備を行政として進めるべきである。懇談会の場でテーマとして掲げ、改善策を提案し、市の考えを伺いたい。

学力低下の根本的な原因究明は、教育委員会などでなされているのだろうか。例えば、経済状況と学力など、データを分析しなければわからないだろう。

当然、分析は行っている。だが、生徒の抱える問題、教員体制、施設課題など、学力低下の原因と言っても非常に複雑であり、それぞれの組織が課題解決に向けて取り組んでいる。もちろん、臨時職員の増加により長期的なスキルアップが難しくなったなど、諸々の制約が無ければ指摘したい部分はあるが、地区のまちづくり懇談会で取り上げるのは適切ではないと考える。

学力・学習状況調査の結果、相模原市は全国平均よりも低いというものだったが、中央地区としては、どうなのだろうか。

本件は、一日一日目標をもって生活できない、安心して学校に行くようなゆとりがない、家の中で日々の会話ができないなど、教育現場の問題というよりも家庭の問題がやはり大きい。

学校だけでなく、家庭の問題というのは理解できる。難しい課題であり、行政も悩んでいるだろう。地域として何ができるか、何かできることはあるのかという観点の議論はあってもいいかもしれない。

テーマとは別になるが、富士見小学校の校庭拡幅に関して、一部実施に止まっている。懇談会では、要望として改めて提起し、早急な対応を求めたい。

結果

1つ目のテーマとして、市役所を含む行政機能等の再編について取り上げることとし、発表者は8月中に役員会から推薦する。2つ目のテーマ選定については、第5回まちづくり会議で引き続き議論する。

(2) 次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について【企画政策課、都市計画課、中央区役所区政策課】

企画政策課及び区政策課の担当者からの資料に基づく説明の後、各グループで意見交換を行い、結果を発表した。

主な発表事項

1 班

青色防犯パトロールの実施に関して、地域で運転手が確保できないため回数を減らした経過がある。市で予算を確保し、運転手の確保・育成を強化してもらいたい。児童・生徒の登下校時見守り等の担い手が不足している。安全環境の整備を進めていく必要があるだろう。

国道16号線の矢部駅入口交差点に歩道橋があるが、歩道橋を利用せず道路を横断する人が多い。改善してほしい。

免許返納を促進するため、市で神奈中バスの補助券を発行するなど、高齢者が免許返納しても生活に支障がないようにしてもらいたい。

高齢者の活動場所、外出のきっかけとなるものがない。西門散策ロードや市役所さくら通りへのベンチの設置など、高齢者の外出を促すような環境を整備してほしい。

子育て世代の集いの場、コミュニティ形成の場が不足している。教育関係 OB などの協力も得つつ、環境改善に取り組んでほしい。

2 班

学校と地域との連携が不足している。大野北地区では、地域活動・教育活動に大学生が参加している例がある。中央地区でも市内大学等と連携し、学習支援や地域行事へのボランティア参加などを促すべきである。

民生委員やスポーツ推進員等の担い手が不足している。若い世代への呼びかけと併せて、元気な高齢者の参加を促すような対応が必要と考える。

中央地区は、風水害の危険箇所が少ないこともあってか、住民の防災に関する意識の低さを感じる。避難所の開設訓練など、平時の備えの充実を通して改善していく必要がある。

自治会加入については、加入率の向上にだけとられるのではなく、加入のメリット、未加入のデメリットを理解してもらい取り組みが重要である。また、役員免除など自治会ごとの柔軟な対応も不可欠。

中央地区内の移動手段の充実が求められる。市役所から西門、矢部駅を通り、淵野辺公園周辺エリア、中央公民館、合同庁舎等を経由して市役所に戻るような、循環ルートのコミュニティバスが整備されればよい。

3 班

自治会加入率の向上のため、加入を義務化する条例を制定してほしい。また、新築アパート、マンションの建設時に、業者に対するより強力な働きかけを行う必要がある。加えて、具体的なメリットを交えた加入促進が肝要である。

小学校、中学校での交通安全教育の充実を求める。

地域ぐるみでの教育という観点で、ふれあいプログラム、おせっかいプログラムの実施を提案したい。駐輪場の自転車の並びを整えるなど、“おせっかい”を通して、子ども達にモラルや常識などを教える地域教育を行ってはどうか。

中央地区の活性化のため、JAXA を一層活用していきたい。

もみの木コンサートを地域の目玉にしていきたい。

4 班

市の防災訓練などに全自治会が参加するわけではないので、地域の安全安心を考える中で、備蓄倉庫の見学や、一時避難場所の確認など、それぞれの自治会ができることをやっていくべきだろう。

矢部駅の交番設置については、要望に対する具体的な経過を確認したい。
自治会加入促進は、ごみ処理と自治会をリンクさせるべきだろう。有料ごみ袋を導入し、自治会経由でしか販売しないなどの手が考えられる。また、自治会未加入者には、集積場所を自分で調整・設置してもらうというのものもあるかもしれない。
スポーツの出来る公園・広場が少ないという声がかねてから上がっている。相模総合補給廠一部返還地等は中央地区ではないが、整備内容などに意見を言わせてほしい。

富士見小学校、中央小学校、中央中学校を一体化し、小学1年から3年の児童は富士見小学校に通い、中央小学校と中央中学校は小中一貫として、小学4年から中学3年までの児童・生徒が通うようなモデル校事業を提案したい。

市営住宅に入居した外国人家庭の子どもは、多くが近隣の公立学校に入学すると考えられるが、その学校で受ける教育の質などを考慮すると、外国人家庭の子どもを受入に関する学校側の対応と、市営住宅の入居希望者受入の考え方とは切り離せないだろう。両者を合わせて対応・検討する必要がある。

資料等の表現について、ESCO 事業など、地域住民が理解しにくいものは改めてほしい。

その他意見・質疑

次回まとめる報告書は、どこに出していくのか。

専門的検討組織である総合計画審議会と市の庁内検討組織に報告、提出することになる。

配布資料では、矢部駅の交番は継続して要望しているとのことだが、詳細を教えてください。

持ち帰って所管課に確認する。

資料の中で、富士見小学校の児童増加への対応として、更に取り組みが必要との記載があるが、取り組みの主体は誰か。

役員会において、指定変更許可区域の設定をもって終了とせず、更なる取り組みが必要との意見があったため、記載した。主体の想定はない。

全般的に言える事だが、記述に具体性が乏しい。報告書の形とするときには、より具体的な記述にすべきと考える。

これまでにいただいた意見をまとめ、できるだけ具体的な記述となるよう、報告書の素案を作成する。その素案を基に、次回のまちづくり会議において議論いただき、適宜修正を加えてもらいたい。

(3) その他

- ・小澤委員から、富士見小学校サマークリーンデイへの参加について、再周知を行った。

4 閉会

以 上

第4回中央地区まちづくり会議(8月23日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	出席
2	鳥海 千秋		中央地区自治会連合会	欠席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	欠席
4	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	出席
5	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
6	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
7	篠崎 久誉		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	出席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	出席
12	山田 章		交通安全協会	欠席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
14	中西 智子		中央小学校PTA	欠席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	欠席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	欠席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	出席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
20	代田 昭		地域有識者	欠席
21	布施 初子		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	出席
23	木口 榮		公募委員	出席
24	小澤 隆宏		公募委員	出席
25	井之上 久		公募委員	出席